

新技術・情報名	ナシの良品生産のための光環境条件
場 所 名	長 崎 県 果 樹 試 験 場
<p>1. 成果の内容</p> <p>1) 技術・情報の内容及び特徴</p> <p>棚下の光環境が果実肥大、枝梢伸長及び花芽の着生に及ぼす影響を明らかにし、過繁茂対策の資料とするため5年生幸水を供試し、寒れいしゃで遮光処理を行った。</p> <p>(1) 6、7、8月のそれぞれ1カ月程度の遮光（遮光率42.3%）では果実肥大に影響は見られなかったが、6～8月の3カ月間の遮光では肥大が低下する傾向にあった。</p> <p>(2) 新梢の伸長は遮光によって低下し、特に6月の遮光で低下が著しかった。</p> <p>(3) 短果枝の着生は6月遮光で、腋花芽の着生は7月遮光でそれぞれ少なくなった。</p> <p>(4) 着生した花芽の大きさは6～8月遮光でもっとも小さく、次いで7月遮光が小さかった。</p> <p>(5) 遮光率が高いほど果実肥大は低下し、80、90%遮光では収穫時の果実重は無遮光の半分以下であった。</p> <p>(6) 1樹当たりの新梢長と短果枝の着生数は遮光率が高いほど低下する傾向にあった。</p> <p>2) 技術・情報の適用効果</p> <p>3) 適用範囲</p> <p>4) 成果の利活用・普及指導上の留意点</p> <p>6月の発育枝の枝かき、誘引によって光環境を改善することが重要であるが。過度の枝かきは葉数不足から樹勢低下を引き起こすので十分注意する。</p>	

## 2. 具体的データ

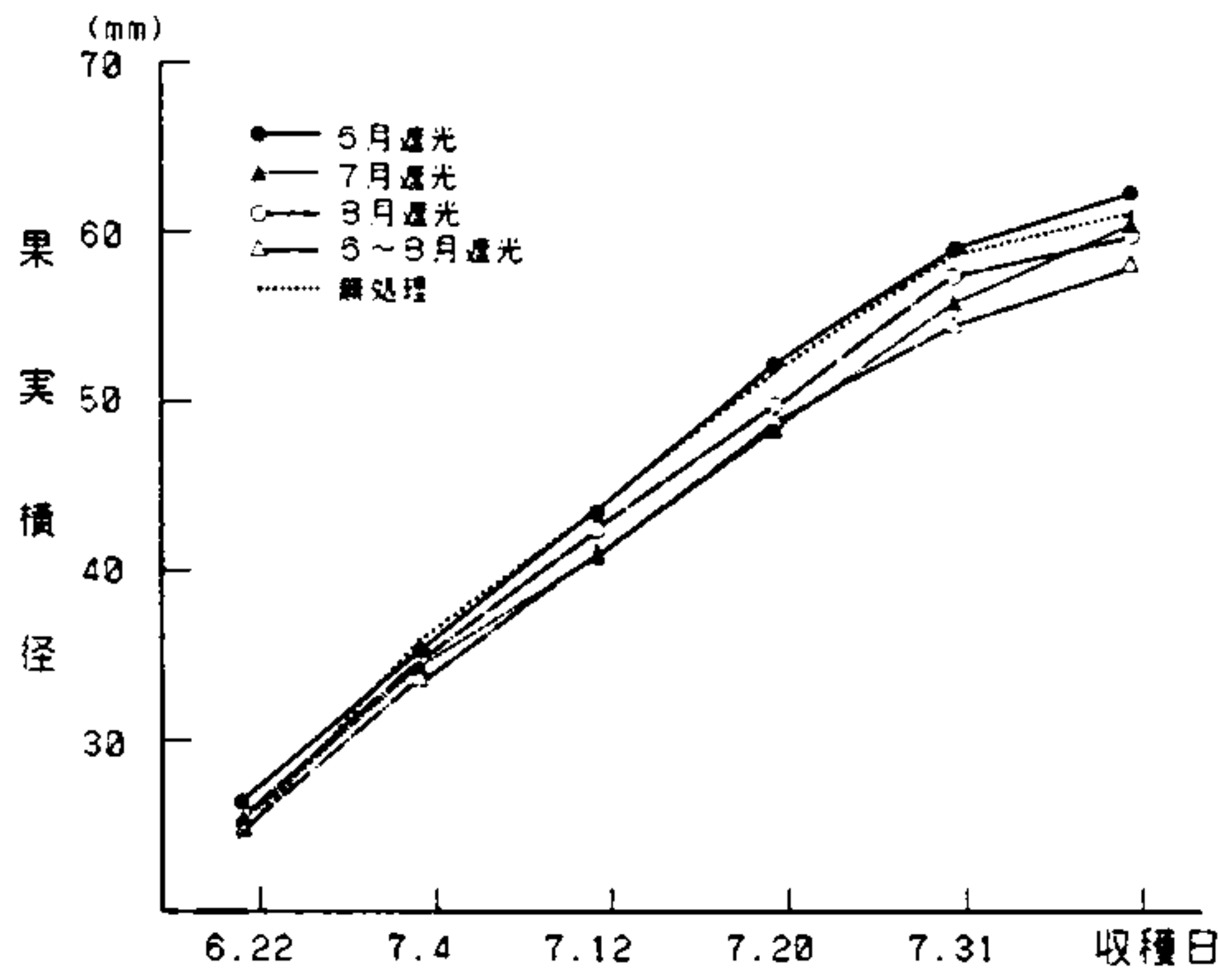


図1 遮光処理が果実肥大に及ぼす影響

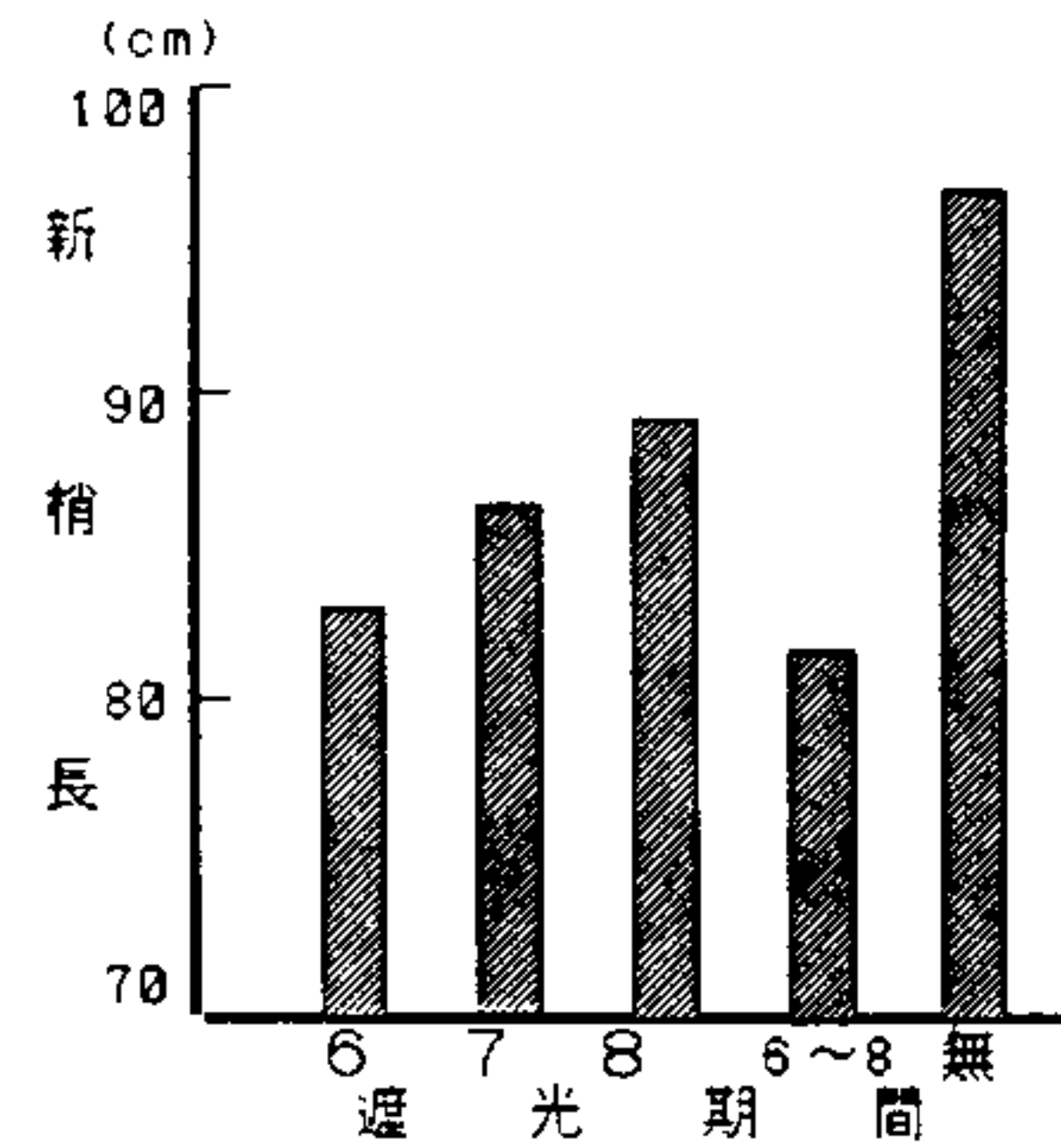


図2 遮光処理が新梢伸長に及ぼす影響

表1 遮光処理が幸水の発芽着生及び大きさに及ぼす影響

処理	着生発芽数		花芽重
	短果枝	腋花芽	
	個/m	個/m	mg
6月	4.4	8.0	111.5
7月	4.9	5.2	97.8
8月	5.7	6.4	111.3
6~8月	5.5	3.5	88.8
無処理	6.3	5.3	115.3

表2 遮光処理が新梢伸長と発芽の着生に及ぼす影響

遮光率	1樹当り		1新梢当り		
	新梢長	短果枝数	新梢長	芽数	腋花芽率
%	cm		cm		%
90	2375	2.0	56.0	12.4	1.28
80	2599	4.3	64.9	14.3	1.71
50	2747	9.0	60.4	14.3	0.96
0	3590	25.0	63.0	14.6	6.12

\*短果枝は2年生枝1m当たり  
腋花芽は新梢1m当たりの着生数

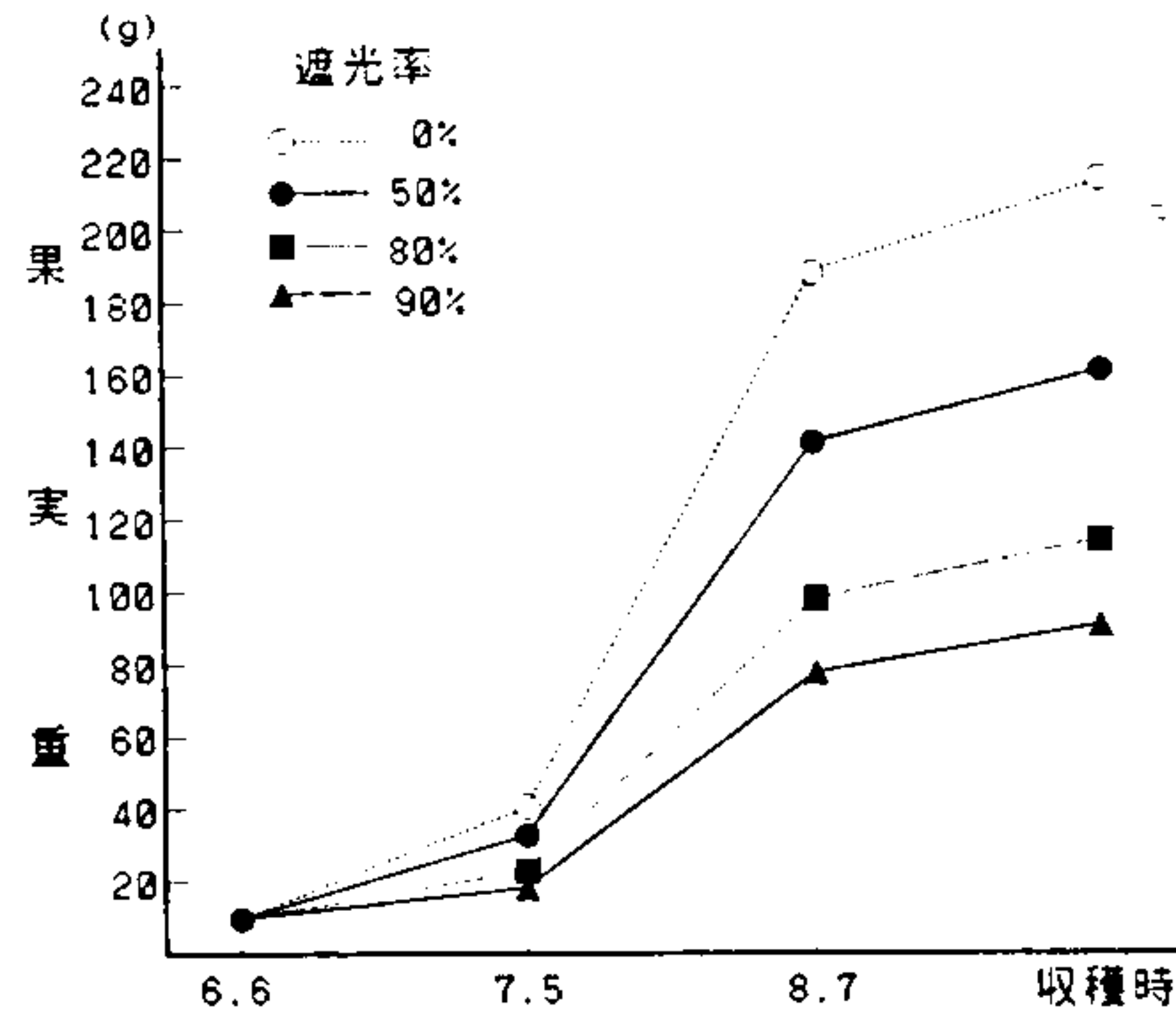


図3 遮光処理が果実肥大に及ぼす影響

## 3. その他特記事項